

シグマ委員会遮蔽定数 SWG 会合議事録

1. 日 時 昭和57年8月9日 13:30~18:30
10日 9:10~17:00
2. 場 所 研究2棟 335号室
3. 出席者 菊池・山野(原研), 萬代(IHI), 川合(NAIG), 佐々木(MAPI),
橋倉(東大・オブザーバー)

4. 配布資料

1. FS-82-21 「核融合炉・遮蔽定数 W.G. 会合資料」
2. FS-82-22 「KFK 鉄体系ベンチマーク解析」

議 事

1) 作業進捗状況の説明があった。すなわち

- i) Winfrith……a) ENDF/B-IV の 100 群定数の作成
b) 上記 100 群定数に基づく DIAC の計算
c) Rh, Au の反応断面積の作成

他の作業については、まだ終了していない。(配布資料 1 参照)

- ii) ORNL ……a) ENDF/B-IV, JENDL-2 の 100 群定数の作成
b) 上記 100 群定数に基づく DIAC の計算

又 DOT-3.5 のテスト・ランは今日中にできる予定。

iii) KFK ……すべて終了した。

2) KFK 遮蔽ベンチマーク実験解析結果

山野委員より KFK 遮蔽ベンチマーク実験解析結果の報告が配布資料 2 に基づきあった。要旨は下記の通り。

- i) Proton recoil counter の測定値と計算値の一致はよい。
- ii) 2 MeV 以上のエネルギー領域

JENDL-2, ENDF/B-IV とともにやゝ過大となっているが、測定値は ENDF/B-IV の計算結果に近い。

iii) 24 keV の共鳴より低いエネルギー領域

JENDL-2 の方が ENDF/B-IV よりも高い計算結果を与える。

3) 第 6 回遮蔽国際会議発表の申し込みについて

上記国際会議発表の申し込みについては、川合、菊池、山野各委員にアブストラクトを一任することになった。

4) 集中作業

その後、集中作業を行ったが、FDEM コードがうまく機能しないことが判明した為、下記の作業のみ行った。

i) Winfrith, ORNL の測定データの整理

ii) SPACETRAN コードの整理

又群定数の縮約は、ANISN コードにて行なうことになった。